

(履-3) 自学自習の記入の必要がない科目：履修・本科学修及び専攻科の実験実習（授業内容部分に罫線なし）

科目名	実務研修	英語科目名	Internship	
開講年度・学期	平成 25 年度・前期	対象学科・専攻・学年	専攻科物質工学コース 1 年	
授業形態	講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2 単位	単位種類	学修単位（4 5 時間単位）	
担当教員	物質工学科全教員	居室（もしくは所属）	電気・物質棟 3、4 階、専攻科棟 4 階 物質工学実験棟 1、2 階	
電話		E-mail		
授業の達成目標	授業達成目標との対応			
	小山高専の 教育方針	学習・教育 目標 (JABEE)	JABEE 基準 要件	
	1. 学校で修得した知識と実務経験との関係性を説明できる。	②	E	d-4, f
	2. 実務経験から問題や課題の解決あるいは究明方法について体験した 範囲で説明できる。	②	E	d-4, f
3. 実務経験で広く学んだことを社会的観点で説明できる。	②	E	d-4, f	
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1~3. 実務研修発表会における発表内容を設定水準で評価する。				
評価方法				
研修中の実務指導担当者の評価と研修後の発表、報告内容で総合的に評価する。				
授業内容				
1. 実務研修の事前指導（研修企業などの予備調査と内容把握） 2. 研修企業などにおける指導者の下での実務研修 3. 研修内容の報告書作成、および発表会での口頭発表				
キーワード				
参考書				
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	物質工学科 4、5 年全科目			
現学年の関連科目	物質工学専攻 1 年全科目			
次年度以降の関連科目	なし			
連絡事項				
1. 短期間ではあるが実社会における実務経験により学校で修得した知識について認識する良い機会であるので有意義な研修にしてほしい。 2. 企業などにおける実務研修は原則として夏季休業期間中に実施する。 企業などにおける研修は、2 週間（8 時間/日 × 10 日）以上の期間とし、研修前の事前指導 5 時間と研修後の報告書作成および発表会などの 5 時間を含んで、研修時間数は 90 時間以上とする。				
シラバス作成年月日	平成 25 年 2 月 25 日（平成 26 年 7 月 26 日授業到達目標との対応について修正）			